

## いばらき農業アカデミー「ブドウ省力技術及び品種の検討」の開催

平成 29 年 8 月 29 日、園芸研究所において茨城県ぶどう連合会品種検討会との共催で、いばらき農業アカデミー（ブドウ栽培技術高度化講座）を開催しました。当日は生産者 53 名、普及・行政等関係機関 31 名の計 84 名の出席がありました。種なしブドウの省力果房管理技術について研究成果の紹介と県内各産地で栽培し出品された多くの品種について特性や栽培管理の意見交換を行い、高品質生産に向けた技術交流とともに、今後の試験研究推進と生産及び販売における課題解決に向け有意義な検討会になりました。

### ○省力果房管理技術の研究成果の紹介

現在、研究課題として取り組んでいる「種なしブドウの省力果房（小房）管理技術」について、これまでの研究成果を踏まえ、紹介と解説をしました。省力果房管理方法に適した品種や果実品質への影響、栽培上の留意点について、慣行果房との比較とあわせて生産物（現物）紹介を行いました。また、省力果房管理技術に取り組んだ現地生産者（青年部）からの果実出品もありました。

### ○品種検討会と試食評価

県内各産地で栽培された多くの品種が持ち寄られ、品種特性と栽培管理方法について参加した生産者から紹介と解説がありました。31 品種（生産者 39 名、園研等）が出品され、欧州系新品種を中心に特長ある品種や同じ品種でも栽培技術により大玉、良着色、高糖度の高品質果房など出席者が期待を寄せている果実について、情報交換が行われました。その後、出品されたブドウの試食を行い、出席者がそれぞれ関心を持った品種や果実の食べ比べをしました。

### ○凍結「シャインマスカット」の研究成果の紹介

普及に移す成果である凍結「シャインマスカット」について、作成方法を説明するとともに出席者に試食して頂きました。

### ○アンケート結果

今回の農業アカデミーに対するアンケート結果では、内容について十分満足、概ね満足が全体の 84% でした。最も高い関心が寄せられた内容は品種検討で、続いて各品種の試食評価でした。

また、興味・期待する品種を尋ねたところ、上位から「シャインマスカット」、「ナガノパープル」、「バイオレットキング」、「クイーンニーナ」であり、17 品種が挙がりました。

\* 当日、茨城新聞と日本農業新聞の取材があり、それぞれ 8 月 30 日、9 月 1 日に掲載されました。



省力果房管理技術の研究成果紹介



出品品種の試食評価